

笹田トヨ子6月議会報告・2

重要水防箇所への解消は難しい

子ども連れで利用できる トイレへの改善は「子育て支援策」



大垣市の治水対策は

質問：大垣市の治水対策の基本的な考え方は・・・

答え：内水排除を主体とし昭和51年4月に『大垣市排水基本計画』を策定し、一定の成果をあげてきたが、その当時と現在の土地利用形態は、予測と異なり都市計画道路の整備、大規模住宅開発などが進展し、更に集中豪雨など降雨状況も大幅に変化し、現在でも浸水被害の解消が出来ない状況である。平成15年より3ヵ年で『排水基本計画』を見直し、効果的かつ効率的な内水排除施設の整備を進めていく。

質問：現在進められている河川改修工事の進捗状況は・・・

答え：揖斐川・・・H19年度完成を目途に、福東大橋から大垣大橋まで河道掘削を計画。現在下流から難波野地内まで実施され、護岸工事も鋭意進めている。

杭瀬川・・・H2年度から近鉄橋梁部の拡幅工事が進められ、高瀬地内及び横曽根地内の狭窄部の解消が進み、現在相川合流点から下流においてH19年度を目途に河動掘削、堤防拡幅、護岸工事など進めている。

大谷川等の河川改修・・・「床上浸水対策特別緊急事業」などにより、用地買収、堤防拡幅、橋梁架替等H19年度を目途に実施されている。

質問：岐阜県が指定している71箇所の重要水防箇所は河川改修で解消されるのか？

答え：重要水防箇所の解消は将来計画規模の河川改修が実施され、さらに安全が確認されないと解消は難しい。



市民活動災害補償保険の設置を

質問：可見市は自治会やPTA、ボランティアやスポーツ活動など市民活動中の事故に対して市が補償するふれあい保険があるが、大垣市も設置してはどうか・・・

答え：市が主催または共催する事業を対象に、全国市長会市民総合賠償補償保険を活用し補償している。市民活動団体が主催する事業に対してはそれぞれの団体で自主的に保険加入し対応していただく。加入せず事業を行われる方については保険加入していただくよう啓発に努める。

親子で気軽に入れるトイレの整備を

質問：ベビーシート・ベビーチェアそして車椅子用や男女兼用といった多目的トイレの設置で、親子で気軽に入れるトイレの整備を。

答え：乳幼児を連れて利用できるトイレへの改善は、親子で気軽に安心して社会参加できる「子育て支援策」の一つと考えている。サイトピアセンター学習館や情報工房など新しい施設は子ども連れ対応仕様に整備してあるが、古い施設は未整備のところもある。今後とも子ども連れ、高齢者、障害者など多くの方が気軽に利用できる施設への改善に努める。